＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

骨材試験報告書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

令和　　年　　月　　日

工 事 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工事場所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

製 品 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

福井市志比[illegible]３丁目２番１４号

株式会社羽崎組

070239JP

試験番号：　A－22－5－0118
受 付 日：令和 5 年 2 月 13 日

試 験 結 果 報 告 書

（ 骨 材 試 験 ）

〔 並砂利(40～20) 〕

株式会社 羽崎組　殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和 5 年 4 月 1 日

ＪＮＬＡ認定登録試験事業者
株式会社Ｍ・Ｔ技研 中央材料研究所
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL：0778-62-1000 FAX：0778-62-7723
発行責任者　所 長　小 林 宏 成

骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 羽崎組
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
依頼者申請事項	試料採取日	令和5年2月13日
	試料採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場
	試料採取者	酒井 利視
試料搬入日		令和5年2月13日
試験日		令和5年2月14日 ～ 令和5年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	並砂利(40～20)	九頭竜川水系 坂井市丸岡町

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	8.00
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.66
		実積率 %	63.8
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	－
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm^3	2.63
		絶乾密度 g/cm^3	2.60
		吸水率 %	1.18
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	13.5
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.4
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.02
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	－
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	－

技術管理者	楳田 直也
試験担当者	楳田 直也

試験規格	JIS A 1102

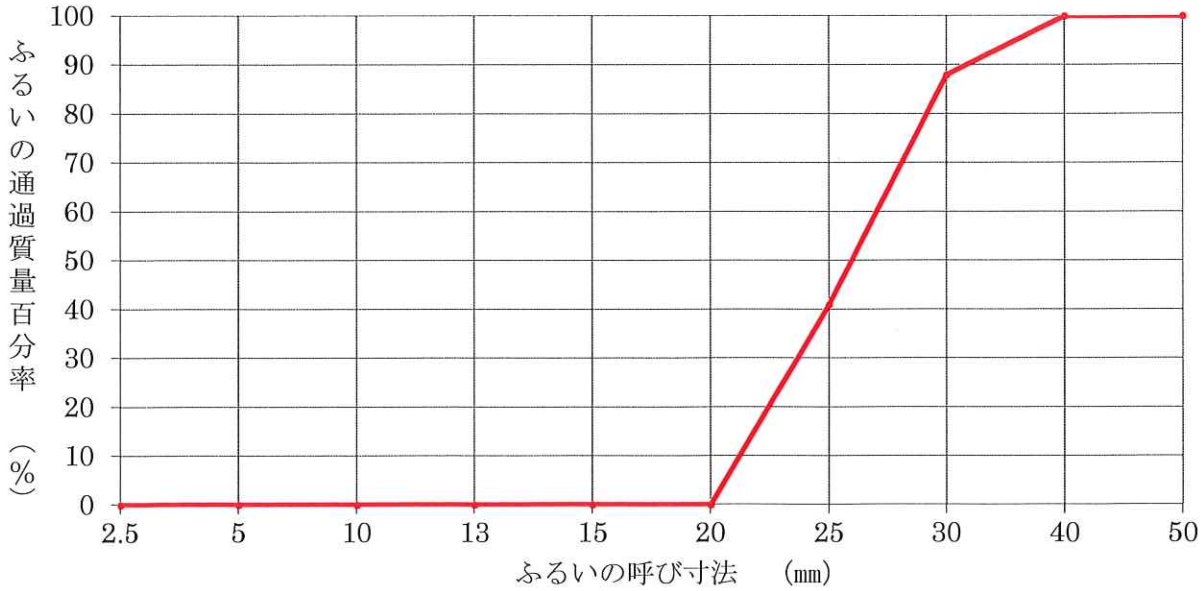
骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者：　楳田　直也

試験日		令和　5　年　2　月　17　日		
試料	種類	並砂利(40～20)	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川水系　坂井市丸岡町		
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日		
	採取場所	株式会社　羽崎組　森田工場		

ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	9752	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	1165	12	12	88
(25)	4543	47	59	41
20	3998	41	100	0
(15)	37	0	100	0
(13)	5	0	100	0
10	0	0	100	0
5	0	0	100	0
2.5	0	0	100	0
受け皿	2	0	100	0
合計	9750	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	8.00	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者 ： 楳田 直也

粗 骨 材				
試 験 日			令和 5 年 2 月 17 日	
試 料	種 類		並砂利(40～20)	
	産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数			1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)		m_1	4770.2	4882.0
洗った後の試料の乾燥質量 (g)		m_2	4755.8	4867.5
骨材の微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		A	0.3	0.3
2回の試験の平均値 (%)		$\overline{A}$	0.3	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)			0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者 ： 楳田 直也

試験日			令和 5 年 3 月 31 日	
試料	種類		並砂利(40～20)	
	産地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		株式会社 羽崎組 森田工場	
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器＋試料)の質量 (kg)	(2)	23.268	23.261
	試料の質量 ＝ (2)－(1) (kg)	m_1	16.568	16.561
	単位容積質量 ＝ $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.66	1.66
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\overline{T}$	1.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm³)	d_D	2.60	
	実積率 ＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	63.8	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者 ： 楳田 直也

試験日			令和 5 年 3 月 17 日	
試料	種類		並砂利(40～20)	
	産地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		株式会社 羽崎組 森田工場	
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	4600.4	4582.0
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	3250.2	3241.7
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm³)	ρ_w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 $= \dfrac{m_1 \times \rho_w}{m_1-(m_2-m_3)}$ (g/cm³)	D_s	2.63	2.63
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\overline{D}_s$	2.63	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	4547.2	4527.9
	絶乾密度 $= \dfrac{m_4 \times \rho_w}{m_1-(m_2-m_3)}$ (g/cm³)	D_d	2.60	2.60
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\overline{D}_d$	2.60	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
吸水率	吸水率 $= \dfrac{m_1-m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.17	1.19
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.18	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

水の温度と密度

温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格　JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者：　楳田　直也

試験日		令和　5　年　3　月　16　日
試料	種類	並砂利(40～20)
	産地	九頭竜川水系　坂井市丸岡町
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所	株式会社　羽崎組　森田工場

ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の各群の質量
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m_1 (g)
2.5	—	2	0				
5	2.5	0	0				
10	5	0	0				
15	10	5	0				
20	15	37	0				
25	20	3998	41				5000
40	25	5708	59				5000
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		9750	100	G	12	1000	10000

試験後1.7mmふるいに残った試料の質量 (g) m_2	8648
すりへり損失質量　$m_1 - m_2$ (g)	1352
すりへり減量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	13.5

試験規格	JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者 ： 楳田 直也

粗　骨　材		
試　験　日		令和　5　年　3　月　24　日
試　料	種　類	並砂利(40～20)
	産　地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町
	採 取 日	令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場

ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の各群の質量	試験後の各群の質量	各群の損失質量分率 $(1-\frac{m_2}{m_1})\times100$	骨材の損失質量分率 $\frac{①\times P_1}{100}$
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	0	0	—	—	—	—
15	10	5	0	—	—	1.5	0.0
20	15	37	0	—	—	1.5	0.0
25	20	3998	41	1006	991	1.5	0.6
40	25	5708	59	1525	1504	1.4	0.8
60	40	0	0	—	—	—	—
合　計		9748	100	—	—	—	1.4

注）①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者 ： 楳田　直也

粗　骨　材			
試　験　日			令和　5　年　2　月　21　日
試　料	種　類		並砂利(40～20)
	産　地		九頭竜川水系　坂井市丸岡町
	採取日		令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所		株式会社　羽崎組　森田工場
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	4621
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	4620
粘土塊量＝ $\frac{m_{D1}-m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.02

注1）試験回数は、附属書Bによる。

本書の取扱いについて

・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。

・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。

・ 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社 M・T技研 中央材料研究所
〒 916-0068　福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL ： 0778-62-1000　FAX ： 0778-62-7723